



備えて、守る。

6月は
土砂災害
防止月間
です!

いよいよ梅雨本番となる6月からは、断続的な雨や局所的な豪雨が発生しやすくなります。近年、全国各地で集中豪雨による大規模な土砂災害が発生しています。市でも、令和2年7月豪雨を経験し、家屋被害などが発生する災害は、いつ・どこで発生するのかわからない状況になっています。

あなたと大切な人の命を守るためには、どんな災害にも対応できるように、日頃から防災対策を行っておくことが重要です。まずは災害に対する心構えをもち、スムーズに避難できるように準備をしておきましょう。

いよいよ梅雨本番となる6月からは、断続的な雨や局所的な豪雨が発生しやすくなります。近年、全国各地で集中豪雨による大規模な土砂災害が発生しています。市でも、令和2年7月豪雨を経験し、家屋被害などが発生する災害は、いつ・どこで発生するのかわからない状況になっています。

命を守る
備えること



今月のTopics! トピックス

おもな内容

- 3 特集 備えて、守る。
- 9 生活あんしんサポートガイド
- 10 まちの話題
- 12 令和4年度 荒尾市の取り組みとお金の使い方
- 14 いきいき企業
- 15 6月は環境美化の月
- 16 男女共同参画週間
- 17 市民病院からのお知らせ
- 18 保健・健康
- 20 わたしたちの学校自慢
- 21 ハイ! スクール通信
市民体育祭水泳競技大会
人権標語
- 22 子育てに関するお知らせ
- 23 初めてのHAPPY BIRTHDAY
- 24 暮らしの情報 PICK UP
- 26 暮らしの情報
- 32 うまか〜レシピ
人権のいろいろ
それいけ 地域おこし協力隊!
- 33 図書館へ行く!
荒尾総合文化センター情報
- 34 あらおカレンダー
- 35 平日夜間・休日当番医
- 36 荒尾干潟ラムサール条約
湿地登録10周年記念事業

今月の税

- ☑ 市県民税 1期 納期限 6月30日(木)
- ☑ 国民健康保険税 1期

- 納期限内に納めましょう。
- 口座振替の人は口座残高をご確認ください。
- 使用期限内の納付書は、市民サービスセンター・コンビニエンスストア・スマートフォンアプリでもお支払いいただけます。

問 収納課 ☎ 63-1353 ☎ 63-1362

お忘れなく!

最新情報は ホームページをチェック!

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今月号に掲載している情報に変更が生じる場合もあります。イベントや行事への参加などをはじめ、掲載情報をご利用になる場合は最新の情報を改めて確認することをおすすめします。



ここから
チェック!



様々な方法で広報紙がチェックできます //

声の広報

文字による情報入手が困難な障がい者のための音声録音版広報紙
問 福祉課 福祉係 ☎ 63-1406

広報あらおを スマホでCheck!

マチイロ マチを好きになるアプリ
アプリをダウンロードすると、いつでも・どこでも簡単に広報紙が閲覧できます。

荒尾市公式LINE

新型コロナウイルス感染症に関する情報や災害・防災などの緊急情報をお届けします。
友だち登録はこちらから▶



人の動き 4月末現在 (外国人住民を含む)

人口 50,626人 (+4)

男性 23,964人 (+20)
女性 26,662人 (-16)
世帯数 24,059世帯(+64)
※()内は前月比の増減



会長
みやざき つかさ
宮崎 司 さん

自分たちのまちを 地域でつな

「かつては、お隣りさんも家族のような存在でした。私は、向こう3軒両隣り」という言葉を復活させたいんです」と話すのは、荒尾市自主防災組織連絡協議会の会長、宮崎さん。同会は、2年前の豪雨被害を受け、各地区の連携を促すことを目的に発足

荒尾市自主防災 組織連絡協議会

豪雨の教訓を糧に 助け合いの精神で

自分たちで守る! がり命を守る

災害時の状況判断は 葛藤の連続だった

熊本県全域に大きな被害をもたらした令和2年7月豪雨。昔から災害の少ないエリアと言われてきた本市も例外ではありませんでした。市内中心部を流れる関川の氾濫によって、深瀬地区をはじめとする多くの市民が避難生活を余儀なくされました。

荒尾市消防団

団長
にしだ まなぶ
西田 学 さん

大切なのは、一人ひとりが 防災を「意識」すること

「災害時に必要なのは、まず正確な情報を集めることです。当時、消防団で副団長を務めていた私は、市の災害対策本部で情報収集係として、各エリアの分団から届く情報を集約し、団員たちの指揮を取りました。市民と団員たちのリスク管理をしながら、瞬時の判断を求められる状況は、葛藤の連続でした」と振り返るのは、消防団長の西田さん。雨が降り続き、ピーク時は深いところで160cmほどの高さまで浸水したエリアもあったそうです。救助活動に臨む中で、ゴムボートやライフジャケット、発電機など、まだまだ備えが不十分であることを西田さんは痛感しました。



1月9日の消防出初式。気を引き締めて防災活動に尽力することを誓いました。

平成2年に消防団に入団した西田さんの地元である野原地区は、現在18人の団員が所属。市全

体では20代から70代まで400人以上の団員が活動しています。「親子ほど年の離れた団員たちと地域を守る」という目標に向かって訓練を続けています。もしもの時には一丸となって人命救助に徹する消防団の活動に、大きなやりがいを感じます。日頃から「防災」を意識することが一番の防災です」と語る表情には、大らかな優しさと団長としての使命感がにじんでいました。

安心安全は当たり前じゃない 長期的な視点で人材育成を

「訓練で習ったことが今すぐ身につくとは限りません。けれども、教育は国家百年の大計である」という言葉があるように、100年後の地域のために、長期的な視点で人材育成に取り組む姿勢が重要です。防災という視点において、地域ぐるみ



災害時に迅速な対応ができるよう
しっかり話し合います!

しました。コロナ禍での立ち上げとなり、思うように活動できなかったとのことですが、今後は防災情報の共有や定期的な防災訓練を行っていくそうです。「訓練はやらなければ身につかないですし、やってみることで分かることがあります。実際に、見る経験が大切です」。そこには少林寺拳法の師範として、交通安全協会の一員として、長年、子どもたちと関わってきた宮崎さんならではの想いがあります。

「訓練で習ったことが今すぐ身につくとは限りません。けれども、教育は国家百年の大計である」という言葉があるように、100年後の地域のために、長期的な視点で人材育成に取り組む姿勢が重要です。防災という視点において、地域ぐるみ

まずは!

災害時のために
避難や備えについて
知っておこう!



食料や物資をスムーズに分配できるように訓練します。

こんなことをやっています /



高齢者・障がい者など、支援が必要な人に対応できるように訓練します。

こんなことをやっています /



定期的に消防団分団団長部長会議なども行われ、災害時に備えます。



新入団員の座学の様子。人材育成にも力を入れています。

災害に備えて
技術向上に
努めます!



「ポンプ操法」の速さや正確さを競う全国大会に出場したことも!